

2015年 3月期 第1四半期 決算補足説明資料



トレンダーズ株式会社
東証マザーズ：6069

2015年3月期 第1四半期 トピックス

2015年3月期 第1四半期 決算概要

- 2015年3月期 第1四半期 概要
- 売上高・売上構成の推移
- 営業利益の増減要因
- 業績に影響を与えた一時的なコスト（売上原価）
- 業績に影響を与えた一時的なコスト（特別損失）

今後の成長戦略

- トレンダーズの成長戦略
- H&BCの成長戦略

■ 売上高が前年同期比68.5%増に成長

既存サービス群、新規サービス群ともに堅調に推移した結果、前年同期比68.5%増の売上高となりました。

■ 新規サービス群が堅調

スマートフォン及び動画関連の新規サービス群が堅調に推移し、前年同期と比べ約8倍の売上高となりました。

■ 一時的費用で28百万円の追加コストが発生

子会社H&BCでの返品受入と、サービス運営効率化のためのシステム統合により合計約28百万円の追加コストが発生いたしました。

2015年3月期第1四半期 決算概要

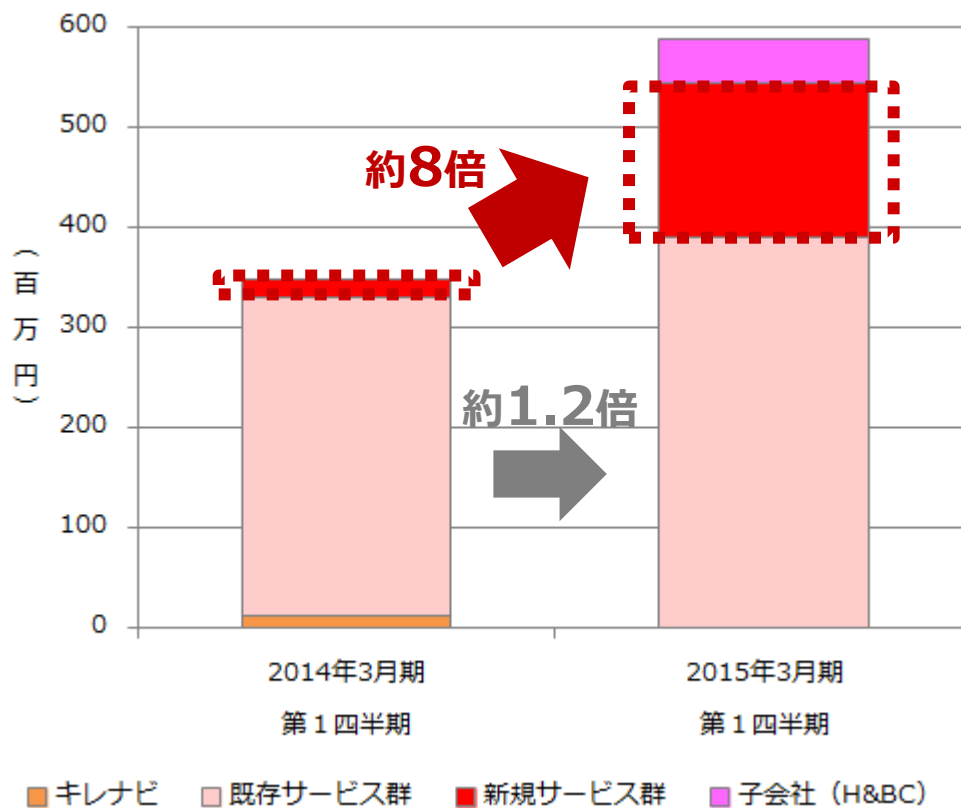
- 第1四半期は**売上高が前年同期比68.5%増**となりました。
また前年同期と比べ、**営業利益・経常利益**ともに大きく回復いたしました。

		2015年3月期 第一四半期実績	2014年3月期 (前期) 第一四半期実績	前年同期比	2015年3月期 通期予想
売上高	(百万円)	588	349	168.5%	2,160
営業利益	(百万円)	45	2	2,041.8%	216
経常利益	(百万円)	45	2	1,772.9%	216
純利益	(百万円)	21	0	32,923.2 %	110

※2014年3月期第3四半期決算より連結決算を開始したため、2014年3月期第一四半期の実績は単体の業績になります。

- 新規サービス群（スマートフォン及び動画関連サービス）は当該売上が前年同期の**約8倍**となり、売上高を大きく牽引いたしました。
また既存サービス群についても、前年同期と比べ約1.2倍となりました。

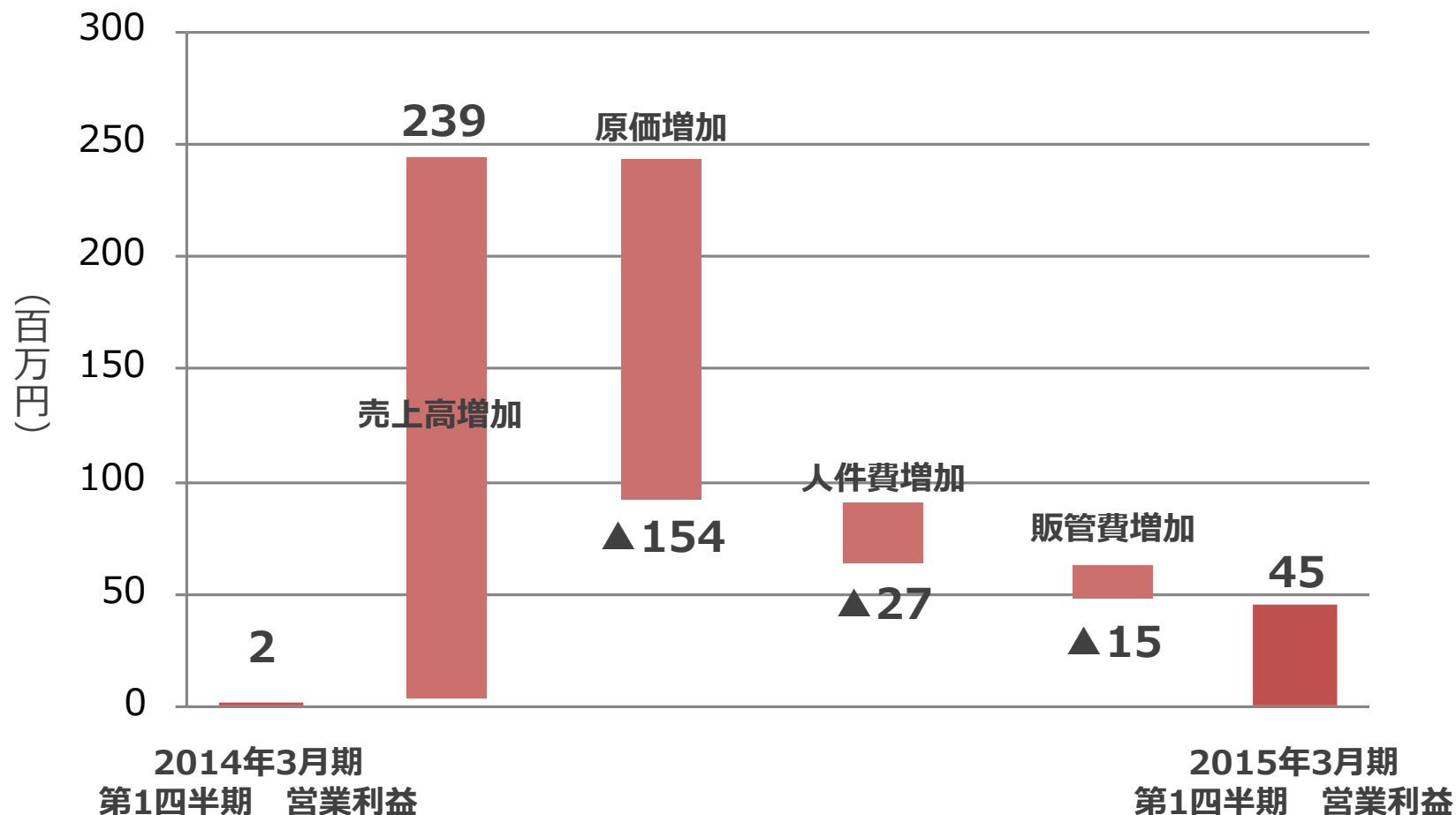
<売上高・売上構成の前年同期比較>



※キレナビは2014年1月末でサイブリッジ社に事業譲渡しております。

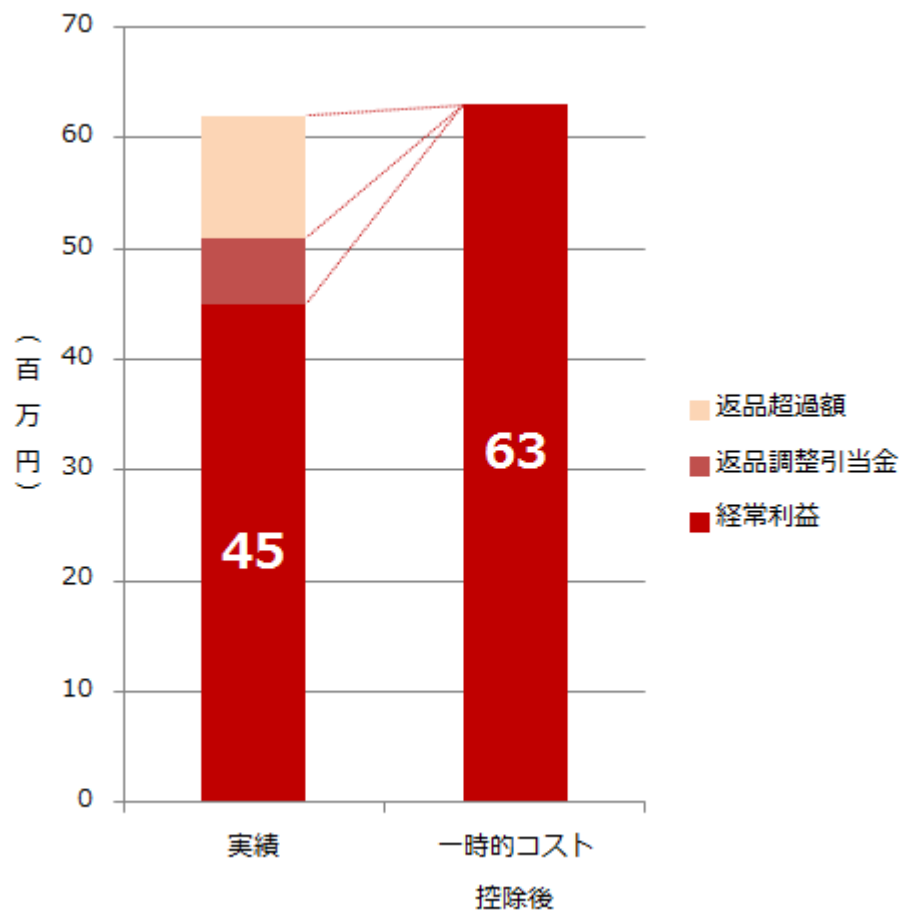
- グループ全体で売上高が大きく増加したことに加え、人件費及び販管費の伸びを圧縮できたことによって、営業利益は前年同期比43百万円増となりました。

<営業利益増減要因>



業績に影響を与えた一時的なコスト（売上原価）

- 子会社H&BCにて返品調整引当金の積立金を超える返品がありました。また、今後発生し得る返品を最大限まで想定した調整引当金を計上いたしました。これにより発生した一時的なコストは▲18百万円となりました。



＜一時的なコスト＞	
返品調整引当金	7百万円
返品超過額	11百万円
合計	18百万円

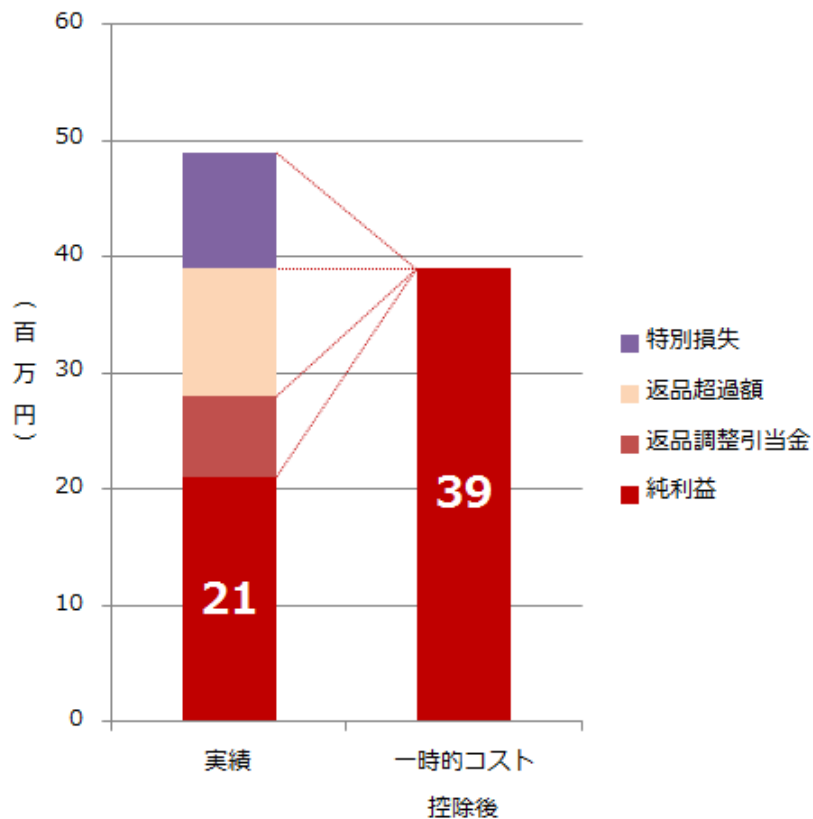
上記コストを控除した經常利益は
63百万円となります。

業績に影響を与えた一時的なコスト（特別損失）

- システム運営費の効率化を図るためにシステムの統合を実施しました。

Tubers Channel → womedia ch. に統合 ▲2百万円（固定資産除却損）
 Amaze → womedia に統合 ▲8百万円（減損損失）

この結果、特別損失として合計▲10百万円を計上いたしました。



返品調整引当金	7百万円
返品超過額	11百万円
特別損失	10百万円
合計	28百万円

上記コストを控除した純利益は
39百万円（※） となります。

※税効果を考慮しております

今後の成長戦略

堅調に推移している**スマートフォン及び動画関連サービス**において、
自社メディアの更なる開発・育成と外部ネットワークの強化を進めてまいります。

■ アプリPR戦略室の開設

スマートフォンアプリに特化したPR・プロモーションの専門部署「アプリPR戦略室」を開設いたしました。ソーシャルメディアでの情報拡散から継続的なユーザー獲得まで、一気通貫した施策を提案してまいります。

■ キニナルモン（ソーシャルブーストアプリ）

ユーザー数が堅調に推移した結果、2014年7月に70万DLを突破いたしました。また取引社数は累計300社を突破いたしました。



■ バイラルメディアとの提携

話題のバイラルメディアとの専売契約を結び、動画拡散のネットワーク販売を開始いたしました。

■ 開発・製造事業にてサロン向け新ブランドの販売を開始予定

「ツール・ザン・ルール」でのノウハウを活かし、美容室サロン向けの新ブランド開発を行い下半期に発売を予定しております。



■ ディストリビュート事業にてフランス人気ブランドの取り扱いを開始予定

新しい海外ブランドの取り扱いを開始し、全国販売を予定しております。

本資料は、業績に関する情報提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的に作成したものではありません。

また、本資料に掲載された情報や見通しは、資料作成時点において入手可能な情報を基にしております。

本資料の内容には当社の判断が含まれており、情報の正確性を保証するものではなく、今後様々な要因により実際の業績や結果と異なることがあります。

Trend × Sustainability

時代の流れをとらえる。そして、持続していく。